

え、それによって成長できるよう助けるためでした。

それこそが、私たちがクリスマスに希望を持つことができる理由です。

イエスは、あなたと個人的な関係を持ち、今ここで、そして永遠にわたって、あなたの人生の非常に現実的な一部になることを望んでいます。そして今、あなたの心の扉の前に立ち、あなたが扉を開けて、人生にイエスを招き入れるのを待っているのです。（参照： 黙示録3:20）

そうしたい方は、次の祈りを心から祈ってください。

「イエスさま、どうか私の過ちをすべておゆるしてください。あなたが私のために死んでくださったことを信じます。心の扉を開いて、あなたをお招きしますので、あなたの聖霊で私を満たし、私があなたのことを知れるように助けてください。そして、真理の道に私を導いてください。アーメン。」

© 2020 Activated

詳しくは、こちらのウェブサイトをご覧ください: <https://activated.org/en>



え、それによって成長できるよう助けるためでした。

それこそが、私たちがクリスマスに希望を持つことができる理由です。

イエスは、あなたと個人的な関係を持ち、今ここで、そして永遠にわたって、あなたの人生の非常に現実的な一部になることを望んでいます。そして今、あなたの心の扉の前に立ち、あなたが扉を開けて、人生にイエスを招き入れるのを待っているのです。（参照： 黙示録3:20）

そうしたい方は、次の祈りを心から祈ってください。

「イエスさま、どうか私の過ちをすべておゆるしてください。あなたが私のために死んでくださったことを信じます。心の扉を開いて、あなたをお招きしますので、あなたの聖霊で私を満たし、私があなたのことを知れるように助けてください。そして、真理の道に私を導いてください。アーメン。」

© 2020 Activated

詳しくは、こちらのウェブサイトをご覧ください: <https://activated.org/en>



聖書は、「神は霊である」、また「神は愛である」と教えています。（ヨハネ4:24; 1ヨハネ4:8）神は偉大な創造主であり、あなたと私、この美しい世界、また全宇宙を創造されました。そして、私たちに愛を示し、私たちが神をよりよく理解できるように、ご自身の子イエス・キリストを人間の姿で地上に遣わされたのです。

イエスは「王の王」となることが定められていましたが、宮殿で生まれたわけではありません。それどころか、納屋の汚れた床の上で生まれ、家畜のえさ箱に寝かされたのです。（ルカ2:7）その誕生は、当時の富裕層や権力者たちから公式に認められることはなく、ただ、何人かの貧しい羊飼いたちが会いに來たのですが、それは天使の一人からこんな知らせを聞いたからでした。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。」（ルカ2:8-14）

30歳となったイエスが、生涯をかけた仕事を始めたとき、教えをただ説くだけではなく、一人の人間として、それを実践しました。また、人々の霊的な必要を満たすだけではなく、病氣の人を癒やし、飢えた人に食べ

物を与えるなど、身体的な必要のためにも多くの時間を費やしたのです。イエスは、自分の評判を犠牲にしてまでも、偏見なく愛を示しました。酔っ払い、売春婦、罪びと、社会に見捨てられ、虐げられた人々とも親しく接することによって、神の愛とゆるしに値しない人などいないことを示したのです。

神はイエスを通して、その愛を全世界に示しましたが、それだけではなく、私たち一人ひとりを個人的に愛しておられます。あなたが永遠の命を持つことができるよう、ご自身にとって最もかけがえのない「ひとり子」イエスを与えてくださるほどに、あなたを愛してくださったのです。（ヨハネ3:16）

神は私たちの痛みを感じておられます。私たちの心の痛みを理解し、大切なものを失った悲しみに寄り添ってくださいます。私たちを引き寄せて、落ち着かせ、癒やし、慰め、安心させたいと願っておられます。そして、私たちをととても愛しておられるので、イエスを人間としてこの世に送られました。それは、イエスが人間として生き、私たちの苦難を味わい、神の手となり、神の心を明らかにし、私たちが神の愛と力に直接、個人的に触れられるようにするためなのです。神がイエスを遣わされたのは、私たちの問題をすべて取り除くためではなく、私たちが問題を乗り越

聖書は、「神は霊である」、また「神は愛である」と教えています。（ヨハネ4:24; 1ヨハネ4:8）神は偉大な創造主であり、あなたと私、この美しい世界、また全宇宙を創造されました。そして、私たちに愛を示し、私たちが神をよりよく理解できるように、ご自身の子イエス・キリストを人間の姿で地上に遣わされたのです。

イエスは「王の王」となることが定められていましたが、宮殿で生まれたわけではありません。それどころか、納屋の汚れた床の上で生まれ、家畜のえさ箱に寝かされたのです。（ルカ2:7）その誕生は、当時の富裕層や権力者たちから公式に認められることはなく、ただ、何人かの貧しい羊飼いたちが会いに來たのですが、それは天使の一人からこんな知らせを聞いたからでした。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。」（ルカ2:8-14）

30歳となったイエスが、生涯をかけた仕事を始めたとき、教えをただ説くだけではなく、一人の人間として、それを実践しました。また、人々の霊的な必要を満たすだけではなく、病氣の人を癒やし、飢えた人に食べ

物を与えるなど、身体的な必要のためにも多くの時間を費やしたのです。イエスは、自分の評判を犠牲にしてまでも、偏見なく愛を示しました。酔っ払い、売春婦、罪びと、社会に見捨てられ、虐げられた人々とも親しく接することによって、神の愛とゆるしに値しない人などいないことを示したのです。

神はイエスを通して、その愛を全世界に示しましたが、それだけではなく、私たち一人ひとりを個人的に愛しておられます。あなたが永遠の命を持つことができるよう、ご自身にとって最もかけがえのない「ひとり子」イエスを与えてくださるほどに、あなたを愛してくださったのです。（ヨハネ3:16）

神は私たちの痛みを感じておられます。私たちの心の痛みを理解し、大切なものを失った悲しみに寄り添ってくださいます。私たちを引き寄せて、落ち着かせ、癒やし、慰め、安心させたいと願っておられます。そして、私たちをととても愛しておられるので、イエスを人間としてこの世に送られました。それは、イエスが人間として生き、私たちの苦難を味わい、神の手となり、神の心を明らかにし、私たちが神の愛と力に直接、個人的に触れられるようにするためなのです。神がイエスを遣わされたのは、私たちの問題をすべて取り除くためではなく、私たちが問題を乗り越